

嘔吐物・下痢便の取り扱い

【保育園から嘔吐物・下痢便が付着した衣類を持ち帰ってきた際の取り扱い】

準備品 全て、使い捨てになります。

- ◇着用品 エプロン 2枚（使い捨て・古い物で構いません）
使い捨て手袋 複数枚（ゴム手袋又はビニール袋を手に付け、ゴムで止めても構いません）
マスク 2枚
- ◆処理用品 ティッシュペーパー 又は ペーパータオル 複数枚
ビニール袋 大4枚・小3枚
ハイター水（ペットボトル 500ml ・キッチンハイター）

ハイター水の作成方法 0.1%液・キッチンハイターでの作成

0.1% ⇒水 500ml に対して 25ml

塩素系漂白剤（キッチンハイター）をペットボトルのキャップで5杯入れることで、ほぼ上記の濃度になります。

500ml ペットボトルの作成時には手順通りに作成を行なうと収まりませんので、水を9分目まで入れます。（図1では線まで）



処理方法

- 1 処理する人以外は近づかないようにし、よく換気をします。
- 2 上記◇着用品を身に付けます。
- 3 ビニールに入れ持ち帰ってきた物に嘔吐物や下痢便が付着している時にはペーパータオル（ティッシュペーパー）で取り除いてから以下のどちらかの方法で処理を行います。
※袋の開封時にウイルスを吸いこんで感染する場合がありますので、十分に気を付けましょう。
- 4 I 85℃以上の湯で1分間以上熱湯消毒（煮沸消毒）します。
85度以上のお湯をしばらく掛けると消毒効果が期待出来ます。

II 上記◆処理用品から、ハイター水を作成し、ビニール袋に流し込んでまんべんなくいきわたらせてから15分浸します。
その後、他の衣類と分けて、最後に洗濯して下さい。
※洗濯方法は通常と同様です。
※衣類は漂白されることがあります。
- 5 処理後の手袋は汚染されたものが内側になるよう片手に丸めこみ、付着しないようにもう片方を外します。
全ての処理用品・使い捨て着用品をビニール袋に密封して廃棄します。
- 6 丁寧に手洗い・うがいをしましょう。薬用せっけんをお勧めします。



<ポイント>

- ・汚れがひどい物は、二次感染の恐れがあるので処分の方が無難でしょう。
- ・リネン類は、普段より長めに天日干しをするか、もしくは高温での布団乾燥機、またアイロンをかけるのも効果的です。ドライヤーを使用するのもおすすめです。品質表示をよく読み、温度は調節して下さい。
- ・ウイルスが飛び散らないよう、素早く処理しましょう。



ご家庭での嘔吐物処理・下痢便処理

準備品 全て、使い捨てになります。

- ◇着用品 エプロン 2 枚 (使い捨て・古い物で構いません) / マスク 2 枚
使い捨て手袋 複数枚 (ゴム手袋又はビニール袋を手に付け、ゴムで止めても構いません)
- ◆処理用品 新聞紙約 10 枚 (古布でも構いません) / ビニール袋 大 4 枚・小 3 枚
ティッシュペーパー 又は ペーパータオル 複数枚
ハイター水 (ペットボトル 500ml 1 ・キッチンハイター)

ハイター水の作成方法 0.1%液・キッチンハイターでの作成

0.1% ⇒水 500ml に対して 25ml

塩素系漂白剤 (キッチンハイター) をペットボトルのキャップで 5 杯入れることで、
ほぼ上記の濃度になります。

500ml ペットボトルの作成時には手順通りに作成を行なうと収まりませんので、
水を 9 分目まで入れます。(図 1 では線まで)



処理方法 ウイルスが飛び散らないよう、素早く処理しましょう。

- 1 処理する人以外は近づかないようにし、よく換気をします。
- 2 上記◇着用品を身に付けます。
- 3 嘔吐・下痢のお子さんの着替え等を行ないます。
嘔吐物や下痢便が付着している時にはペーパータオル (ティッシュペーパー) で
取り除いてから、ビニール袋大にしまえます。
※その後の対応方法は、別紙「嘔吐物・下痢便の取り扱い」参照
- 4 ハイター水を嘔吐・下痢のあった場所にかき、新聞紙でふたをします。図 2
(ウイルスが飛散ないように覆う感じにする)
- 5 ハイター水を含ませた新聞紙 (古い雑巾等) で嘔吐物をまとめます。図 3
この時、外側からまとめビニール袋小に入れ、その後ビニール大に入れます。
まとめる際には両手を汚染するのではなく、片手は嘔吐物には触らないようにして、新
しい物品が汚染されないようにします。
両手が汚れた場合、綺麗な手袋に付け替えます。
- 6 嘔吐物から 2M×2M までの距離には、ウイルスが飛んでいる為、ハイター水を含んだ新
聞紙 (古布等) を広げ、2M×2M の幅に敷き、その後約 15 分は敷いておきます。図 4
- 7 15 分を目処に、敷いておいた新聞紙 (古布) をまとめ、ビニール袋大に入れます。
それらと共に身に付けていた、手袋、マスク、エプロンも入れ、袋を縛ります。
処理後の手袋は汚染されたものが内側になるよう片手に丸めこみ、付着しないようにも
う片方を外します。
全ての処理用品・使い捨て着用品をビニール袋に密封して、その時、新しいビニ
ール袋に入れ 2 重にして廃棄します。
- 8 水分が残る為、新聞紙で再度水気を取るなどし、完全に乾くまでは換気して、なるべく
その近辺を使用しないようにします。
- 9 丁寧に手洗い・うがいをしましょう。薬用せっけんをお勧めします。



<ポイント>

- ・汚れがひどい物は、二次感染の恐れがあるので処分した方が無難でしょう。
- ・リネン類や自家用車内は、普段より長めに天日干しをするか、もしくは高温での布団乾燥機、またアイロンをかけるのも効果的です。ドライヤーを使用するのもおすすめです。品質表示をよく読み、温度は調節して下さい。カーペットの表面は家庭用スチームアイロンで消毒出来ます。(一か所あたり、2 分間程度加熱する必要があります)

<家族内で症状が発生したら、洗浄・消毒してほしい場所>

- ・消毒を行なった服 (乾燥後にウイルスが飛散しその粒子を吸い込む事で感染することがあります)
- ・便座、トイレのレバー、ドアノブ、水道の蛇口、手すり、その他生活の中で直接手の触れる場所。(金属物は腐食を起すので、消毒後、水を絞った清潔な雑巾などで拭き取りましょう。)
- ・ウイルスは 1 週間残ります。特に嘔吐場所・オムツ交換場所・食事の場所は 1 週間消毒しましょう。
その際のハイター水は 0.02% です。⇒水 500ml に対して 5ml (ペットボトルのキャップで 1 杯)